

教科の特質に応じた端末の活用

端末の可能性を生かして、教科ならではの学びを実現した実践

- ・観察したものを撮影し、写真で保存する。
- ・録音機能を使用して、自分たちの歌声を聴き、振り返る。



【2年 理科】

顕微鏡から見た観察対象を撮影することで、対象物そのものの様子を保存することができる。



【3年 音楽科】

端末に、練習した歌声を録音し、自分たちで試聴することで、次に歌う時の改善点に気付くことができる。

今までの実践は、理科では「観察したものを記憶し、ノートに描く」、音楽では「相手に自分たちの歌声を聴いてもらって、感想を聞く」だった。

端末を活用することで、観察したものは写真によって＜リアルに再現＞され、自分たちの歌声は＜客観的に再現＞される。また、これらは保存されることで観察経過や練習経過も蓄積され、容易に振り返ることができるようになる。